

大阪JOCS主催

アフリカの風… 医療を通じた関わりを求めて…

—宮尾陽一短期タンザニア派遣ワーカーの活動報告—

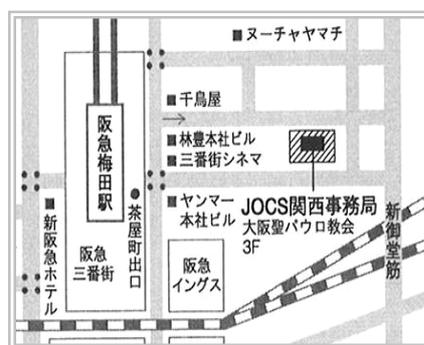
日時：2009年7月4日（土）午後5時～7時

場所：日本聖公会大阪聖パウロ教会 1階

大阪市北区茶屋町2-30 阪急梅田駅下車
茶屋町口より西へ徒歩3分

会費：無料 軽食（ハンク'ラテ'シュガー）付き

カレー準備の関係上、出席される方は事前にご予約ください。
また使用済み切手がありましたら、ぜひ当日お持ち下さい。



日本からはるか遠いアフリカ。その中でタンザニアは赤道のすぐ南、大陸の東に位置し、褐色の肌の色だけでなく、文化・習慣も私たちと大きく異なる国です。

今回、現地での医療活動報告を、宮尾陽一医師より聞きます。アフリカではどんな風が吹いているのか…。一緒に命の大切さを考えませんか。

お誘い合わせの上、ご参加下さい。どなたでもどうぞ。

宮尾陽一ワーカープロフィール

1949年熊本県生まれ、今年60歳。千葉大学医学部卒業、外科医。1989年から長野県軽井沢町立病院で終末期医療に力を入れ、病院としてのリビングウィル作成などに取りくむ。1998年から海外医療活動を開始。これまで主にアジアの国々で活動。2007年JOCSワーカーとしてタンザニアに2ヵ月滞在。2009年1月から2月にかけて2回目のタンザニア訪問。

主催：大阪JOCS（日本キリスト教海外医療協力会 大阪後援会）

お問合せ・お申込み：JOCS関西事務局 TEL 06-6359-7277